



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 日本の海を守る『海上自衛隊の艦艇』の雄姿に感動！ ～栃木県防衛協会芳賀支部 海上自衛隊横須賀基地研修～



基地の概要説明の様子



資料室のパネル展示から学ぶ様子



寒さを忘れるくらいの「輸送艦おおすみ」の雄姿に感動！



栃木県防衛協会芳賀支部の参加者35名

参加者からは「たくさん艦船を見ることができ、大変貴重な体験ができました。艦船はとも大きくて圧倒されました」「栃木県は海がなく海上自衛隊の活動は普段なかなか知る機会がないので大変有意義な機会となりました」等の感想があった。

真岡募集案内所は「今回の研修では海上自衛隊と横須賀地方隊の活動への理解を深めてもらうことができました。特に初めて研修に参加した方は、自衛隊に対する理解を深められる貴重な体験になったと思う。また、繁忙期の中快くご対応を頂いた横須賀基地の皆様にも深く感謝し、今後も協力団体と部隊・基地との円滑な調整を図り、有意義な見学研修支援に尽力していきたい」としている。

基地研修に先立ち、海上自衛隊横須賀基地に程近い場所にある、民間会社が運営している「YOKOSUKA軍港めぐりクルージングツアー」に参加した。このツアーは一般クルーズ船に乗船し、船内で軍港の詳細説明を聞きながら日米の艦船をみることができ、横須賀ならではの人気ツアーで、参加者たちは海上から海上自衛隊と米海軍の艦船が揃う横須賀港ならではの圧巻の光景を堪能されていた。

ツアー後、横須賀基地に移動して、横須賀地方総監部広報推進室の担当者から海上自衛隊の役割及び活動内容等の説明を受けた後、岸壁に移動して停泊中の艦船を見学した。岸壁では、普段見られない呉基地所属の輸送艦「おおすみ」が車両・物資等積載の為に寄港しており、間近で見学しながら東日本大震災の際の救援物資輸送活動等の説明を受けた。参加者は「おおすみ」の圧巻の大きさに驚きながら写真を撮影したり、護衛艦・補給艦等の物資積載の作業に当たる隊員の様子などを見学した。その後、基地内の資料室で展示品の艦艇写真や基地の歴史を見学し、貴重な資料を見学することができた。

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は12月12日（火）、栃木県防衛協会芳賀支部（支部長 堀中 勝水氏）35名の海上自衛隊横須賀基地研修を支援した。

防衛協会芳賀支部は自衛隊への理解と相互協力関係をより深めるため、精力的に部隊・基地見学等に力を入れて取り組んでおり、今回の海上自衛隊横須賀基地研修は今年3回目の部隊研修となった。（5月海自・下総基地、9月空自・松島基地）

当日、現地到着後は、明け方から降っていた雨もあがり、12月の寒さも少し緩んだ中で研修を開始することができた。